別表第十九号　地上基幹放送局、11.7GHzを超え12.2GHz以下の周波数の電波を使用する衛星基幹放送局及び12.2GHzを超え12.75GHz以下の周波数の電波を使用する高度狭帯域伝送デジタル放送を行うための衛星基幹放送局を用いて行う標準テレビジョン放送、高精細度テレビジョン放送及び超高精細度テレビジョン放送のうちデジタル放送の輝度信号及び色差信号の方程式

（第23条第１項、第23条の16第１項、第63条第１項及び第81条の２第１項関係）

［表略］

［別表第二十号　略］

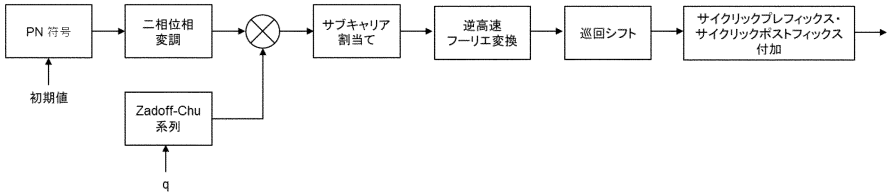
別表第二十号の二　サブフレーム区間におけるサブフレームの配置（第23条の７第２項関係）

サブフレーム区間が複数のサブフレームにより構成される場合は、別記１で定めるサブフレーム間インターリーブを行うことができるものとする。

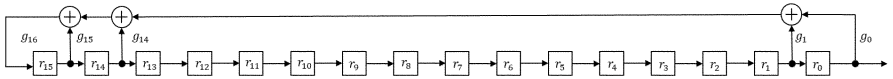
別記１　サブフレーム間インターリーブ

サブフレーム間インターリーブを行わない場合、有効シンボル期間長が短いサブフレーム順にフレーム内に格納される。サブフレーム間インターリーブを行う場合、それぞれのサブフレーム区間はTMCC情報で示す分割数に分割された後、有効シンボル期間長が短いサブフレーム順に交互にフレーム内に格納される。なお、シンボル数が分割数で割り切れない場合、サブフレームの先頭側から除算結果の小数点以下を切り捨て、１を加算したシンボル数を必要に応じて分割されたシンボル群に割り当てることとする。

別表第二十号の三　フレーム同期信号の送出手順（第23条の８第１項関係）



注１　PN符号は、下図に示すPN符号発生器で生成する。ここで、gはフィードバックパスの結線の有無を示し、PN符号の生成多項式は$g=\{g_l, g_{l-1}, \cdots, g_2, g_1, g_0\}=\{1,1,1,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,0,1,1\}$とする。なお、rはレジスタを示し、l=16、レジスタの初期値は0000　0001　1001　1101とする。



２　Zadoff-Chu系列は、振幅が一定である複素数からなる系列であり、

$Z_q(k)=\exp\left(-j\pi q\frac{k(k+1)}{N_{ZC}}\right)$ に従って生成する。ここで、q=137、N_{ZC}=1879とする。

別表第十九号　地上基幹放送局、11.7GHzを超え12.2GHz以下の周波数の電波を使用する衛星基幹放送局及び12.2GHzを超え12.75GHz以下の周波数の電波を使用する高度狭帯域伝送デジタル放送を行うための衛星基幹放送局を用いて行う標準テレビジョン放送、高精細度テレビジョン放送及び超高精細度テレビジョン放送のうちデジタル放送の輝度信号及び色差信号の方程式

（第23条第１項、第63条第１項及び第81条の２第１項関係）

［表同左］

［別表第二十号　同左］

［新設］

［新設］